

【アントレプレナーシップ学環】令和8年度 学部等教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部等教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

アントレプレナーシップ学環の教学マネジメントは、学環教授会を責任主体とし、教授会構成員が参画して推進する。これを本学環事務室が支援する。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

①カリキュラムマップ

設置届出時に策定済みであり、完成年度を迎えるまでは改訂しない。

②シラバス

1年次科目について作成済みである。各科目は、カリキュラムマップに基づき、ディプロマ・ポリシーおよび「8つの資質・能力」との関係を踏まえて設計している。また、主要授業科目においては、日本版 EntreComp v1 ガイドと授業内容との対応関係を示している。

③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

ナンバリングについては、設置届出時に策定済み。完成年度を迎えるまでは改訂しない。

今年度の取り組み

学部等連係課程としての教育課程の特色や、基盤科目・展開科目・演習科目の関係を、学生や高校生等にも分かりやすく示すための図（必ずしもツリー図とも限らない）の作成について検討する。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題

新設であるため、まずは、学修成果・教育成果を把握・検証するための指標、方法、運用方針を確立する必要がある。

今年度の取り組み

- ・ 外部アセスメントテスト、学習成果実感調査、GPA、学環独自アンケート等の既存指標を用い、主要授業科目を中核とする学修成果の把握方法を整理する。
- ・ 日本版 EntreComp v1 ガイドも参考にしながら、本学環の教育成果の可視化のあり方を検討・試行する。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

新設であるため、授業科目における具体的な課題の把握はこれからである。

初年次の段階から学生一人ひとりの学修状況、活動状況、志向性等の把握を進め、学環ならではの教育を着実に実施する。

今年度の取り組み

少人数教育の特長を活かし、学生一人ひとりの状況に応じた学修支援を行う。とりわけ1年次春学期においては、入学試験時の情報、入学時アンケート、学修・活動状況等を総合的に把握し、個別面談も実施する。また、正課にとどまらず、課外活動や社会・産業界との接続も含めて学生の挑戦・行動を把握し、正課教育との連動のあり方を検討する。

アセスメントプランの取り組み

アセスメント科目名	検証方法（在学時）
・「基礎演習Ⅰ」 ・「科学技術と未来社会」 ・「イノベーション概論」 ※令和8年度は1年次主要授業科目を対象とする。	☐ 外部アセスメントテスト（GPS アカデミック） ☐ 学習成果実感調査 ☐ GPA ☐ 在学生調査（在学生活に関するアンケート） ☐ 学環独自アンケート（各年次開始時） ☐ 授業内での発表等
	検証方法（卒業時）
	☐ セルフ・カルチベーションⅢでの発表 ☐ GPA ☐ 卒業時調査（4年次生調査） ☐ 学環独自アンケート

取り組み内容（「8つの資質・能力」の達成方法など）

学環のディプロマ・ポリシーと、本学が掲げる「8つの資質・能力」との対応関係を整理し、主要授業科目における学修成果の把握を通じて、その修得状況の検証に活用する。

その他

日本版 EntreComp v1 ガイドも参照しつつ、本学環におけるアントレプレナーシップ教育の成果把握・可視化の方法について検討を進める。

※この内容は、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP へ掲載します。